

今年も寒い冬がやってきました！！

補聴器・人工内耳の冬対策、大丈夫でしょうか？

<電池が減るのが早い！？>

補聴器・人工内耳に空気電池を使っている場合、空気を取り込んで発電します。そのため、冬場は空気が乾燥しやすかったり、暖房器具から二酸化炭素が発生したりすることで、電池の寿命が短くなることがあります。

対策：暖房器具を使用する時は、こまめに換気をする。

朝は電池が冷えた状態であるため、10秒ほど手で握って温めてから補聴器・人工内耳に入れる。

使わない電池はシールを貼って、空気穴をふさいでおきます。

※乾燥ケースの中に電池を入れると寿命が短くなるため、必ず補聴器本体と電池を分けて保管しましょう！



<いつもより、音が小さく聞こえる・・・！？>

補聴器をつけても、いつもより音が小さく聞こえたり、聞き取りにくくなったりしたら結露が発生しているかもしれません。チューブに水滴がたまっていると、音が出なくなります。

対策：ティッシュで水滴を吸い取る。

エアブローで水滴を飛ばす。



<ストーブの近くに置いたら・・・？>

ストーブなどの暖房をつける機会が増えると思いますが、近くに人工内耳や補聴器を置くと、熱で故障の原因になります。置き場所には注意しましょう。



<静電気が発生したら危ない！？>

冬は静電気が発生しやすいですが、人工内耳は静電気に弱いのです。そのため、人工内耳のマップが壊れることがあります。

対策：静電気の起きやすい場面や服の素材に注意する。

静電気を逃がす。



～コクレア社製人工内耳「フリーダム」について～

今年の年末をもって、修理等のサービス（ダイレクト交換）が終了いたします。

来年1月1日からは、故障した際に同型機種へ交換するのではなく、最新機種に買い替えるなど、対応が変わります。万が一故障した際には、担当医やSTに相談の上、今後の対応を決めることとなります。費用や手続き等の詳細は、定期受診などの際に担当医やSTにご相談ください。